

丸の内会場  
+ オンライン  
同時開催

一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会 第162回月例勉強会

# 日本の資本市場と投資銀行の課題 ～上場中堅・中小企業のガバナンス高度化に向けて～

日時

2025年5月13日(火) 16:00～17:30 (受付開始 15:30)

※ オンラインでの同時配信を実施します。後日の録画配信も予定しております。

会場

AP 東京丸の内 (東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

参加費

会員 3,300円 / 一般 6,600円 (税込) ※ 事前のオンライン決済をお願いいたします。

東京証券取引所(東証)は2022年4月に市場区分を再編し、プライム、スタンダード、グロースの3市場を設立しました。この改革は企業の持続的成長と中長期的な価値向上を促すためであり、特に「資本コストや株価を意識した経営」を全ての上場企業に求めています。しかし、日本の証券界は投資銀行機能が不足しており、中堅・中小企業への支援が充分ではない現状があります。特に大手証券では収益性重視の経営方針により、小規模案件への対応が限定されているため、成長のための資金調達手法やM&A戦略等の提案が進んでいません。投資銀行インフラが限定されている我が国では、経営陣が資本市場に対する意識を常に持ち、対応していく必要があります。

また、上場手続きや維持のコスト、開示の手間の観点から、MBO等で非上場化する動きも散見されますが、我が国では米国に比べると非上場会社の資金調達手法が極端に少ないという現実もあります。会社の持続性の観点からも、資本市場や資金調達手法について金融機関だけに依存する事なく、企業の経営陣が日頃研究する必要があります。

今回のセミナーでは、上場中小・中堅企業における資本市場への対応にスポットを当て、取締役会においてどのように投資銀行活用の意義を理解し推進すべきか、また社外取締役はどのように関与すべきか、皆様と一緒に議論したいと思います。

講師

渡邊 佳史 (わたなべ よしふみ)氏

ストームハーバー証券株式会社 代表取締役社長

1988年 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。同年、ソロモン・ブラザーズ(現シティグループ)入社。以降、投資銀行部にてニューヨーク、東京で金融機関担当のカバレッジとして金融機関の資本調達、証券化並びにM&A業務に従事。特に1990年代は邦銀のバーゼル規制に対応する資本調達、2000年代は邦銀の資本調達、公的資金の返済及びIPOに関わる引受業務を数多く手がける。2006年日興シティグループ(当時)投資銀行本部金融法人部ヘッド。

2010年 UBS 証券投資銀行本部金融法人部ヘッドとして入社後、投資銀行本部共同本部長。大手事業法人及び金融機関のM&A、株式・債券引受、IPOに関わる。2013年 投資銀行本部副会長。

2014年 ストームハーバー証券代表取締役 CEO に就任。



## 今後の勉強会予定

第163回  
6月開催予定

詳細は確定次第ご案内いたします。

お申込み

詳細はご案内メールに記載しております。メールが届かない方は下記までご連絡ください。

[お問合せ先] 実践コーポレートガバナンス研究会 セミナー事務局 [seminar@icgj.org](mailto:seminar@icgj.org)

## 会場のご案内

会場 AP 東京丸の内

住所 東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階  
Tel:03-5224-5109

交通 JR・丸ノ内線「東京駅」／丸の内線・千代田線・半蔵門線「大手町駅」から徒歩約4分  
都営三田線「大手町駅」D6出口直結



主催

ICGJ

一般社団法人実践コーポレートガバナンス研究会

ウェブサイト: [www.icgj.org](http://www.icgj.org) | Mail: [contact@icgj.org](mailto:contact@icgj.org) | Tel: 03-3539-3208

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-18-6 クロスオフィス内幸町 3F